

地域再生計画（地方創生汚水処理施設整備推進交付金）中間評価調書

都道府県名	鹿児島県	事業実施主体	薩摩川内市	地域再生計画名	「うるおいのまち薩摩川内」水環境再生計画
計画期間	平成28年度～令和2年度	評価責任者	薩摩川内市水道局長		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	達成状況		中間目標値の実現状況に関する評価	
	指標1	指標2	基準年度	年度	中間実績	基準年度	年度	指標総数		達成数			
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	河川の水質改善 春田川のBOD（平均）	3.4mg/l	H27	2.2mg/l	H30	1.5mg/l	1.0mg/l	R2	○	2	2	BODはH26年度の基準値3.4mg/lからH30年度実績は1.5mg/lと改善しており目標の2.2mg/l（以下）を達成している。
	指標2	定住促進 中心市街地人口	40,201人	H27	40,100人	H30	40,260	40,000人	R2	○	2	2	中心市街地人口はH27年度の基準値40,201人からH30年度実績は59人増加しており、目標の40,100人（以上）を達成している。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1												
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標2												
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価							
			計画	中間年度（H30）	最終実績見込み								
特別措置を適用して行う事業	平佐第二地区管路整備		2.5km	0.3km	2.5km	管路整備の実施設計において、ルート等を詳細に検討した結果により、管路延長を変更した。また、ガス、水道管の支障物件との計画調整に想定外の期間を要し、管路工事において、入札不調及び管路基礎地盤部における湧水、軟弱地盤の影響による工法検討に想定外の期間を要したことから、事業期間を2年延長し、事業を図る必要がある。							
	宮里浄化センターポンプ棟		1式 715.8百万円	1式 640.6百万円	1式 640.6百万円	宮里浄化センターポンプ棟は、建設工事の入札不調、掘削時において想定岩盤線の変更が生じたことから、基礎及び仮設工法の検討に想定外の期間を要したことから、事業進捗に遅れを生じたが、令和元年7月に完成した。							
	宮里浄化センター水処理施設		1式 695.2百万円	1式 122.2百万円	1式 704.1百万円	宮里浄化センター水処理施設増設は、ポンプ棟建設工事の遅れから工事発注の遅れが生じ、入札不調、掘削時において想定岩盤線の変更が生じたことから、基礎工の検討に想定外の期間を要したことから、事業進捗に遅れを生じており、事業期間を1年延長し、整備を図る必要がある。							
	個人設置型浄化槽		1,728基	607基	1,728基	個人設置型浄化槽については、平成30年度までに607基を整備しているが、近年の高齢化等の社会情勢の影響から当初設定した年度設置目標を達成できていないことから、市独自の補助金等を活用するとともに、更なる啓発に努め、公共下水道事業との相互の整備効果を図るために、計画期間を延長し設置基數達成を図りたい。							
その他の事業													
計画外で独自に実施した事業	単独浄化槽からの切替えに対する上乗せ補助		既設の単独浄化槽から、合併処理浄化槽への切替を推進するため、上乗せ補助を行う。			年間20件程度の申請がある。本補助のみで考えると効果は少ないが、これからの水環境整備の改善という点においては、継続していきたい。							
	定住住宅取得補助・定住住宅リフォーム補助		市内への定住を促進するため、住宅の取得や住宅のリフォームを支援するために補助金を交付する。			住宅リフォーム補助については、住環境の整備に活用されており、既設汲取式トイレの水洗化改造に併せて、小型合併処理浄化槽への切り替えや公共下水道へ接続に寄与している。							
④評価方法	薩摩川内市上下水道事業運営審議会にて中間評価を実施する。												
⑤中間評価の公表方法	薩摩川内市下水道課ホームページに中間評価の結果を掲載する。												
⑥計画全体の総合評価	<p>本地域再生計画では、汚水処理施設整備交付金を活用した公共下水道及び個人設置型浄化槽を一体的に整備することにより、河川の水質改善行い暮らしやすい環境整備と、中心市街地人口減少歯止めを図ることを目的としている。目標1については、平佐第二地区の管路整備に遅れが生じているものの、これまでに整備が完了した区域での下水道への接続の増加や区域外での個人設置型浄化槽の整備が進んでいることから目標値を達成できた。目標2については、下水道区域内での高層マンション等の進出により、市街地人口に若干の増加がみられ、目標値を達成できた。以上のことから、水質改善及び中心市街地人口増が図られており、整備の効果が発現されているものと評価する。引き続き地域再生計画の事業展開を図っていき、最終目標値を達成するよう事業進捗を図っていく。</p>												
⑦今後の方針等	中間評価結果の反映状況					有りの場合その具体的内容							
	<p>地域再生計画の見直し（有・無）</p> <p>令和2年度予算要望額への反映（有・無）</p> <p>有りの場合の増減額 69,406千円減</p>					<p>計画上の整備を行うことで、水質改善、市街地人口減少の歯止めの目標は概ね達成される見込みであるが、事業進捗状況が遅れている。このため、中間評価の結果を踏まえ、計画期間を2年延伸する。</p> <p>計画期間の延長に伴い、残る事業期間で計画的かつ効果的な整備を図るための事業費の配分を行う。結果として、令和2年度の事業費については、減額とする。</p>							
⑧今後の方針等に対する対応	<p>●計画期間延長を行うための変更認定申請を行う。</p> <p>・計画期間 平成28年度～令和2年度 → 平成28年度～令和4年度</p> <p>・令和2年度の事業費 認定時466,344千円 → 見直し後328,795千円[137,549千円減（うち交付金69,406千円減）]</p>												